

IV 平成30年度下水道事業実施状況について

1 下水道の施策

公共下水道事業と浄化槽整備補助事業について、各々の機能、経済性、採算性等を考慮しながら、整備と維持・改修をバランスよく進めることにより、市民の快適で衛生的な暮らしを確保し、併せて公共用水域の水質保全を図ります。

市街地の雨水排水の内水氾濫による浸水被害を未然に防止するため、浸水対策にかかる計画的な整備を行うことにより、自然災害に強い安全・安心なまちづくりを目指します。

政策 ひとにやさしく安心・快適で活力あふれるまちを目指します。

基本施策(汚水) 効率的に汚水処理施設の整備

- 施策 1 環境にやさしく快適な下水道整備
- 施策 2 下水道経営基盤の充実

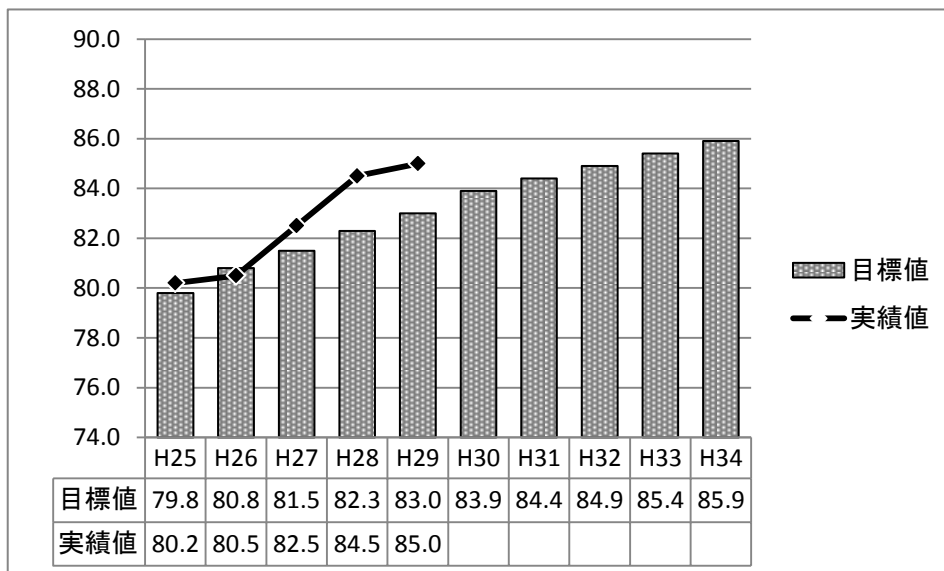
基本施策(雨水) 河川砂防・雨水排除施設の整備

- 施策 1 安全安心な雨水排除施設の整備
- 施策 2 自然災害に対する地域保全

【滝沢市総合計画に基づく施策等の目標値】

	(平成29年度実績)	平成30年度目標	平成31年度目標
水洗化率(『めざそう値』) (行政区域内人口に対する浄化槽も含めた水洗化率)	85.0%	83.9%	84.4%
水洗化率	95.5%	95.1%	96.2%
水洗化人口	35,225人	34,632人	35,098人
整備区域内人口	37,202人	37,290人	37,378人

【参考】汚水処理実施計画における年次別計画値と実績値(普及率)



2 下水道施設整備の計画

(1) 平成30年度 汚水処理施設整備の基本施策方針

公共下水道と合併処理浄化槽の最適な配分による汚水処理を推進するとともに、老朽化が進む既存の公共下水道の適正な維持と改修を目指します。

- ・ 経費及び工事コストの縮減に引き続き取り組みます。
- ・ 全体計画の未着手区域について、費用対効果を再算定し、今後の事業展開のための基礎調査を行います。

(2) 平成30年度 雨水処理施設整備の基本施策方針

市民の安全安心の確保を最優先に、計画的な雨水排水対策事業の実施と実現に向けた特定財源の確保を行っていきます。また、それぞれの整備推進するため、可能な限り効率的な設計や発注方法等の工夫を行い、コスト縮減に努めます。

(3) 平成30年度の主要事業

【管渠建設事業】(汚水施設整備)

汚水整備事業 330,500千円 (整備面積 10.6ha、汚水管延長3,250m)

(内訳: H29繰越133,700千円・H30現年196,800千円)

小岩井・巣子汚水整備工事
巣子・大崎汚水実施設計業務
費用対効果再算定業務

汚水改築事業 83,800千円

マンホール蓋交換	42箇所
取付管カメラ調査及び工事	966箇所(調査数)
耳取汚水中継ポンプ制御盤更新工事	1箇所
管渠更生工事	178m

【雨水建設事業】(雨水施設整備)

雨水整備事業 40,700千円 (整備面積0.3ha、雨水施設延長75.3m)

(内訳: H29繰越27,400千円・H30現年13,300千円)

巣子川右岸第三排水区雨水整備工事	雨水開渠 U1,100	75.3m
雨水施設整備事業に係る土地購入	164.34	m ²
浸水対策事業施設計画検討業務(事業計画変更等 1式)		

【維持修繕事業】(汚水施設管理)

維持修繕事業 14,000千円

マンホールポンプ維持修繕	4箇所
流量記録計更新工事	1箇所
流量計及びマンホールポンプ器盤塗装工事	5箇所

管路維持修繕工事

20箇所

【合併処理浄化槽設置整備補助事業】

浄化槽設置整備補助 21,003千円

合併処理浄化槽

47基